

# 事務事業評価資料

施策名		きめ細かな雇用就業支援		所管部局課名	産業労働部政策労働局しごと支援課				
事業名		若者しごと倶楽部サテライト運営事業		担当者電話番号	雇用対策係 078-362-3357				
事業目的		県内のニートやフリーター等の就業促進							
事業内容		若者しごと倶楽部のサテライト施設を阪神地域及び播磨地域に設置 就職相談、ニート等の相談、NPO等の提案型事業実施、セミナー等の情報発信			事業開始年度	平成18年度			
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(13,873 千円) 13,873 千円		(13,876 千円) 13,876 千円		(13,831 千円) 13,831 千円			
	人件費	4,236 千円	従事人員 0.5人	4,180 千円	従事人員 0.5人	4,102 千円	従事人員 0.5人		
	総コスト (+)	18,109 千円	従事人員 0.5人	18,056 千円	従事人員 0.5人	17,933 千円	従事人員 0.5人		
事業の目標		若年者の就職者数 (若者しごと倶楽部本体含む)			[目標設定理由] ・厳しい雇用情勢を受け、フリーター等の不安定雇用が課題となる中で、個々の状況に応じた就職支援により若年者の就職を促進する。				
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	若年者の就職者数(人)	1,000	毎年度	1,247 (15 千円)	1,200 (15 千円)	1,000 (18 千円)	125%	120%	100%
評価結果	必要性	・ニートやフリーター人口は高止まりしていることに加え、雇用情勢の悪化によりフリーター等非正規就労者の離職が増加していることから、国の施策とも連携した支援を図る必要がある。 ・このため、引き続きニート等の利用者ニーズに沿った支援メニューの提供によるきめ細かな対応により、就業を促進する必要がある。							
	有効性	・厳しい雇用情勢や施設の認知度も向上してきたことから、相談者数等も増加傾向にあり、ニート等の若年者を対象とした就業に向けた相談等の支援は非常に有効である。							
	効率性	・必要最小限の事業費で実施しており、指標1単位あたりのコストも、概ね横ばいであることから、効率的な事業実施が図られている。							
	民間・市町との役割分担	・公募による企画競争により各地域において活動しているNPO団体へ委託しており、受託団体のもつ地域のネットワークを活用した支援を実施している。 ・なお、相談者の居住地など市町の行政区画にとらわれない取り組みが必要である。							
受益と負担の適正化	・ニートやフリーターの増加は、少子化や社会的負担の増大などの問題が生ずることが懸念されている。若年者の職業的自立を支援することは、活力ある社会の維持に繋がるため、直接的な受益者である利用者の負担は求めている。								
実施方針	方向性	新規	拡充		継続	実施手法の見直し			
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
実施手法の見直し内容	市町移譲 民間移譲 民間委託 PFI 負担割合変更 事務改善 その他								
説明	地域において若年者の就職を支援するため、引き続き実施する。								